

富秋中学校区等まちづくり検討会議（平成30年度第6回） 議事概要

1. 日 時：平成31年1月24日（木）19:00~20:00

2. 場所：和泉市 和泉第一団地 集会所

3. 出席者：委員 12名 和泉市職員 10名 コンサルタント 3名 その他地域住民 2名

4. 議事次第

- (1) 部会での検討状況について
- (2) まちづくり構想に向けた今後の進め方について
- (3) その他

5. 議事概要

■部会での検討状況について

※以下、特記無き場合委員の発言

- 市浦より資料説明 資料1-1【子育て・教育部会報告】
資料1-2【みんなの居場所づくりイベント資料】
資料1-3【福祉部会報告】

■まちづくり構想に向けた今後の進め方、今後のまちの生活機能と施設のあり方について

- 市浦より資料説明 資料2-1【まちづくり構想で今後まとめていく内容（たたき）
と今度の検討の進め方】
資料2-2【今後のスケジュール】
資料2-3【まちの生活機能と施設のあり方について】

- ・ 今ある施設が全て大型でそれぞれ縦割りになっているので、新しい施設は**コンパクト・多機能で、みんなが集まれるような施設**にしたい。また、それは**行政による運営ではなく、地域で運営**し、地域の核となればよい。
- ・ 特養などの介護施設で、費用が高い民間のものではなく公営のものがあるとよい。
- ・ 問題行動を起こす子どもは、家庭が金銭的に厳しく親が外に仕事に出る機会が多い等、親との接触機会が少ない傾向にある。せめて通勤時間を短くするために、**地域に仕事の場があれば**と思う。
- ・ **いつでも誰でも来れる居場所**があればよい。今の施設は、申込みや、親の許可が必要な場合、子どもだけでは夜間利用できないなどの状況。そうではなく、**親も安心して子どもを行かせられる場所**があればよい。
- ・ 富秋町には集まれる場所がなく、会議などの際は、隣の自治会のひまわり会館を無料で借りている状況だが、借りて使うのは気を使う。総会やちょっとした時に、**誰でも気兼ねなく自由に使える場所**があると良い。
- ・ 以前見学に行った岸和田市の星ヶ丘団地の自治会館（注：正式名称は府営荒木団地の“リビングほ

しがおか”）の事例は、理想に近い。**行政の力を借りず地元で運営しており、自意識を持っていか
なければ何をやるにしても出来ない**と思う。

⇒星ヶ丘団地の自治会館のようなもので、地域が自主的に運営委員会を作り、社協も協力しながら、喫茶スペースや地域食堂、カラオケ・将棋などの娯楽スペースなど、貸し借りも含めて行なっている。中心になる人の労力はいると思うが。

⇒桃山学院大学の近くにある自治会館も地域で事務員を雇って運営しているようだ。

⇒星が丘の会館は、**人がいつもたくさん居て雰囲気良かった**。ポイントを貯めてボランティアに来る人に還元される仕組みもある。また、買い物に行けない高齢者のために畑などで野菜を多く買ってきて市場のような形で売るなど、色々な取組みをやっているようだ。

- 地元で運営していくという話が出たが、人も変わっていくので、**持続可能なまちづくり**が必要なのではないか。
- **そこに行けば何か問題を解決してくれるという期待感が持てる場所**。
- 地域内に限らず、例えば桃山学院大学の生徒など、**外からボランティアが集まりやすく関わりやすいまち、やりがいのあるまち**に変えていき、新しくつくる施設が拠点となったら面白い。
- 図書館のように、**子どもが安心して勉強しに行ける場所、勉強しやすい環境づくり**ができればよいのでは。
⇒家庭で一番勉強がはかどるのはリビングらしい。それは、**子どもが安心した環境で勉強できることが重要**なようだ。勉強した子どもたちが社会に出て、地域に帰ってくるようになると良い。
- 線路を超えて、30号線より向こう側は、買い物に訪れる店が少ない。個人商店も地域にはあるが、自転車でわざわざ買いに行く気持ちになるのは中々難しいので、やはり駐車場が必要。また、**車に乗ってでも買い物に行きたくなるような商店があれば**と思う。
- 幼稚園が終わってお昼頃、保護者に近くのお店を聞かれても、紹介できるのは国道沿いのお店中心なので、**地域に車を停めれてベビーカーで入れるようなお店があればよい**。そのうえで、**そこに行けば悩みを解決できるとか、その場所で色々会話できるような親子カフェ**のようなものがあれば。
- てらこやハッピーの参加者が100名を超えることもあって、食堂のスペースの問題から、本堂と横の部屋を控室としているが、そこに宿題を持ってきて勉強する子が増えた。ただ、時間を16時～19時（中学生）にしているので、もっと時間を長くしてあげたいが、帰りの心配もあって悩ましい。迎えの問題さえ解決できれば良い環境が出来ているように思う。
- 知らない近所の人も多いので、**心のバリアフリー**というか、**新しい住民がまちに入ってきてなじめるように、受け入れる地元側も変わる必要がある**と思う。
⇒（どこかで聞いたような言葉だが）ふらっと寄れてフラットな関係。
⇒ハイツ等で表札が出ていないのは訪問販売などが怖いらしい。家族構成を入れるとDMが増えるなどの考えもあってのことだと思う。
- 仕事で来ている人など**外から来る人もまちの一員になれるとよい**。例えば**学校の教師なども地域の一員とするならば、小中一貫校の議論に参加してほしい**と思っている。教師は学校への思い入れもあり、経験もあると思うので、この機会に議論に入ってもらえれば。自分達だけでは限界があるの

で、まちの魅力を色々な人の力を借りて作っていくことが出来れば地域も活性化していくと思う。

- ふじ自治会で朝登校の見守りをやっているが、一部の生徒が線路や大きい道路を超えて通学してくる。小中一貫校となった場合、保護者も心配だと思うので、踏切にも人が立つ必要がありそう。通学路は安全にする必要がある。
- 登校について、実際に行っていたことだが、最初の頃は兄弟で通学させ、徐々に慣れてきたら一人で通学させていた。このような取組みを地域で協力してできないか。そうすると中学生や高学年の小中学生にとって、リーダーシップを自覚させる機会となり、良い影響も期待できる。
- ボール遊びできる場所がほしい。今の公園にバットを持っていくだけで、小さい子どもの保護者から嫌な顔をされるので、自由にボール遊びできる場所があればよい。
- 観光資源になるものをつくって外貨を呼び込めないか。例えば野球場をつくって、プロ野球チームのキャンプ地になったり、公式試合があれば、周りの商店も活性化するし、雇用も生まれるので、まち単位でできないだろうか。その運営を地域で出来れば強みにもなる。
- 個人商店同士が、お店の情報の共有や共通のポイントをつくるなど、ネットワークをつくって観光資源の一つにできないか。弥生の湯には外国人がたくさん来ているが、個人商店の方まで来てもらえるようになれば。今は言葉が分からず断っていることも多い。
⇒高野山は外国人観光客が多いが、若い学生のアルバイトがちょっとした英語等で接客して通じていた。そういった大胆なことをできる若い子にアルバイトにきてもらえれば。
- 泉北の三原台ではヤングタウンというしくみがあったが、例えば桃山学院大学などの大学生を対象に市営住宅をシェアハウスにして、家賃を下げる代わりに、地域のお手伝いなどしてもらえれば
- 市営住宅の若い世代や高齢者を対象としたシェアハウス化が出来るのかなど、今後整理したい。
- 都市部でよく見る、一つのビル内に複数クリニックが入っている建物が地域にあればどうか。今ある和泉診療所の活用もあると思うが。
⇒（事務局）
メディカルモールは立地を選ぶ点や、医師会との調整もあるので、現実的にはそう簡単ではない。

■事務局より

- • これまでは課題の共有だったが、これからは意見を積み上げていく形になるので、今出た意見を地元を持ち帰り、また何か意見があれば事務局まで伝えてほしい。
- 次回住環境・コミュニティ部会、福祉部会の合同部会で具体的に議論し、中身を検討会議で再度議論する形で進めていく。またサウンディング調査の結果も踏まえて議論していく。
- 検討会議のメンバーでの懇親会を2月末頃目途に開催したいと考えている。詳細については、調整次第後日連絡する。
- 1/27 にイベントを実施する予定。まちづくり検討会議を主催としているので、ご都合つく方は協力いただければと思う。